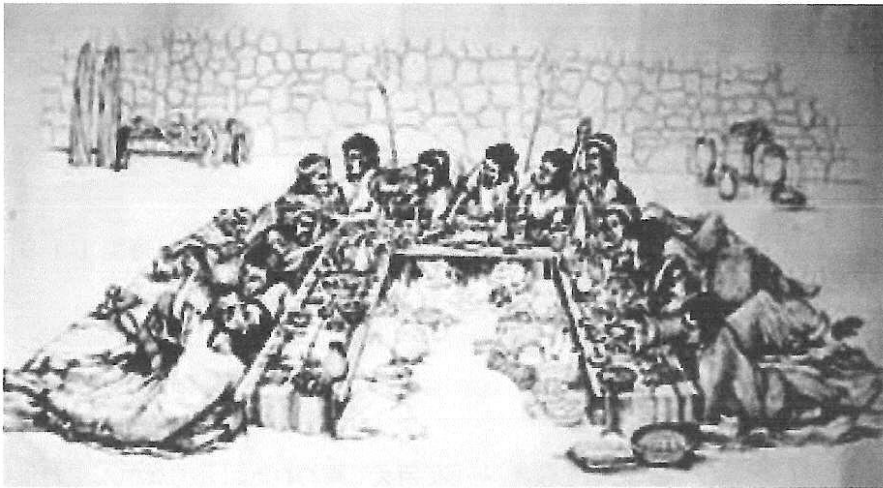


＜新しい契約の始まり＞

マルコ 14 : 12 ~ 25



過ぎ越しの食事

「過ぎ越しの食事」の場の確保は容易ではない。しかし既に準備されていた。

大祭司たちがイエスさまのちを狙っている。

イスカリオテ・ユダもイエスさまを引き渡す機会をねらっている。

事前に食事の場が知れてしまえば、捕まる恰好の場となってしまうかもしれない。

大切な過越の食事を誰にも邪魔されないように、弟子たちと祝いたい。

弟子たちが出かけに行って、都に入ると、まさしくイエスの言われたとおりであった。それで、彼らはそこで過越の食事の用意をした。

【16節】

【過ぎ越しの食事】

ユダヤ歴のニサンの月15日に行われる。

モーセをリーダーに、エジプトを脱出した日。

民は家族ごとに子羊一頭をほふり、その血を家の二本の門柱とかもいにつけ、その夜、その肉を火で焼いて家族でそろって食べ、旅の支度をした。



真夜中、エジプトに10番目の災いが下り、すべての初子が打ち殺されたが、小羊の血を門柱と鴨居に塗っている家は、その血のしるしを見て、災いが過ぎ越していった。

時を経て、神の御子イエス・キリストが、生ける神の小羊として、十字架で刺し通されて、その流された血によって、全ての人が救われる。



イエスさま あなたがたのうちのひとりで、わたしといっしょに食事をしている者が、わたしを裏切ります。

* 最も親しい人という意味

弟子達 まさか私ではないでしょう？！

絶対自分ではないと、全面的に否定する者は一人もいなかった。

思いがけず裏切ってしまう危うさや弱さが、自分にあることを知っていた。

自分も弱さがある人間だと心得ている人は、神のことばを聴く余地、
光が差し込む余地がある。

みことばの戸が開くと、光が差し込み、わきまのない者に悟りを与えます。詩篇 119：130

◆食欲な心からイエスさまを裏切ったユダ。しかし、イエスさまはユダを名指しする
ことを避けた。どこまでも立ち返る余地を残し、悔い改めの機会を与えた。

イエスはパンを取り、祝福して後、これを裂き、彼らに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしの
からだです。」また、杯を取り、感謝をささげて後、彼らに与えられました。【22, 23節】

裂かれたパン → イエスさまのからだ。

杯 → 罪を赦すために流される契約の血。

◆イエスさまはご自分の血を流す事によって、「新しい契約」を結ばれるといわれた。

見よ。その日が来る。一主の御告げ—その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。
その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のよう
ではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。一主の御告げ—
彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。一主の御告げ—わたしはわたしの律法を
彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。
そのようにして、人々はもはや、『主を知れ』と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らがみな、身分の
低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。一主の御告げ—わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思
い出さないからだ。

エレミヤ 31：31～34

キリストは新しい契約の仲介者です。それは、初めの契約のときの違反を贖うための死が実現したので、
召された者たちが永遠の資産の約束を受けることができるためなのです。 ヘブル 9：15

「新しい契約」を受けた私たち！その祝福とは・・・